

「医療と介護の連携を深めるための基礎知識」講習会 アンケート結果

I. 方法

あおぞら診療所と連携のある6つのグループホームの職員39名を対象に、「医療と介護の連携を深めるための基礎知識」講習会を実施した。

日時：平成23年6月10日(19:00~21:00) 場所：松戸商工会議所本館・中会議室

II. 参加者

1. 参加者の資格

職種	有資格者数
ヘルパー1級	1
ヘルパー2級	19
介護福祉士	17
その他	8
無回答2名を除く	

2-1. 介護職員としての経験年数

経験年数	人数
1年未満	1
1年~2.9年	9
3年~4.9年	4
5年~6.9年	8
7年~9.9年	9
10年以上	8
	39

2-2. 認知症介護の経験年数

経験年数	人数
1年未満	1
1年~2.9年	10
3年~4.9年	4
5年~6.9年	10
7年~9.9年	11
10年以上	3
	39

3. 看取りの介護（亡くなる1ヶ月以内の介護）に携わった件数

看取り件数	人数
0件	11
1件	5
2件	3
3件	5
4~5件	3
6~8件	4
9~10件	7
11件以上	1
	39

III. 方法

プログラム内容は以下の通りであった。

①発表1：「生活と医療の関係と体調の変化に際しての報告相談のしかた」

③発表2：（認知症のステージアプローチについて）

④グループ交流（生活と医療の関係と体調の変化に際しての報告相談で困ったこと、認知症へのかかわりや看取

り体験について、グループメンバー間でのフリーディスカッション)

IV. 結果

【講習会について】

1. 講習会への参加動機

25名から計26個の記述が得られた。記述内容についてカテゴリー分類を行ったところ、4つのカテゴリーに分類された。

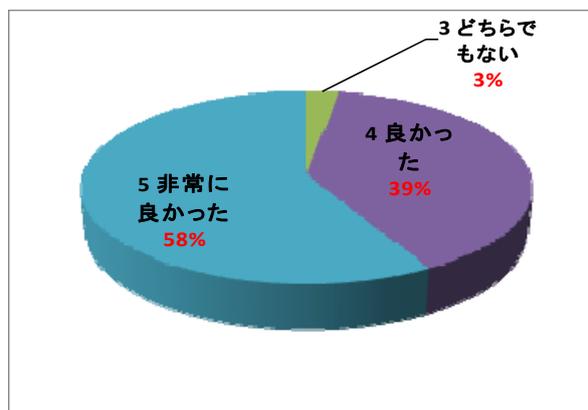
カテゴリー	記述内容
他施設との 交流・情報交 換 【9】	初めの参加でしたが、もう少しグループの方々とフリーに話したかった。
	GHとの交流
	講習内容。他グループホームとの交流
	他ホームとの交流。
	他のグループホームの困難事例、対応策、困っていることなど聞けたらと思いました。
	他 GH スタッフとの交流
	他施設の方と交流をもちたい。
	コミュニケーションを深めるため。
他の施設がどのような取り組みをされているか、いろいろ情報交換できたら	
他施設との 交流・情報交 換 【9】	初めの参加でしたが、もう少しグループの方々とフリーに話したかった。
	GHとの交流
	講習内容。他グループホームとの交流
	他ホームとの交流。
	他のグループホームの困難事例、対応策、困っていることなど聞けたらと思いました。
	他 GH スタッフとの交流
	他施設の方と交流をもちたい。
	コミュニケーションを深めるため。
他の施設がどのような取り組みをされているか、いろいろ情報交換できたら	
医療知識の 習得 【8】	現場の医療の感覚をもう一歩つかみたかったので参加しました。
	医療面での対応など。
	なかなか関わるのが少ないが、知っていたい医療のことを知ることができると思い参加しました。
	現場で必要な知識
	知識をたかめたい
	医療で自分が知らない部分が多いので知識を得たい。
	看取りに対しての不安があり、お話を聞きたく思いました。
いろいろな一つ一つの対応	
医療職との 連携の促進 【7】	医療と介護の関わりについてと認知症について
	急変や何かちょっとおかしいなと思った時の連絡の仕方。認知症ケアについて
	近年看取りに関わるが多くなってくると医療と介護、ご家族様との連携は非常に重要だと考えられます。どのように、どの時期での連絡の確認など
	医療と介護の連携について、どのような目安、手順等でとらえるかについて確認できればと思いました。

	介護をしていくうえで安心してできる為の医療との関わり。
	講習会の参加は初めてでしたが、介護と医療について少しでも理解を深めたいと思い参加しました。
	ホームで学べない、医療現場から見る介護を知る事ができるかと期待しました。
その他【2】	わからないまま参加したのでよく分かりません。
	薬に関する知識。

2. 講習会に参加した感想

	度数	%	累積%
1 悪かった	0	.0	.0
2 どちらかと言ったら悪かった	0	.0	.0
3 どちらでもない	1	2.6	2.6
4 良かった	15	39.5	42.1
5 非常に良かった	22	57.9	100.0
合計	38	100.0	

無回答1名を除く



3. 参加して参考になった点／役に立った点

31名から計40個の記述が得られた。記述内容についてカテゴリー分類を行ったところ、5つのカテゴリーに分類された。

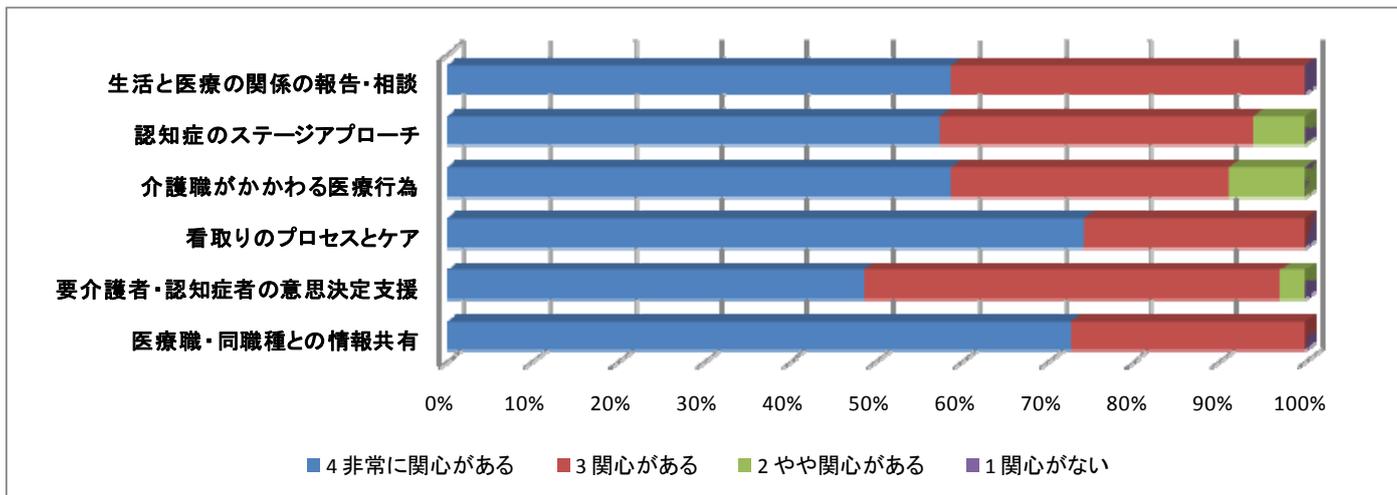
カテゴリー	記述内容
他施設との交流・ 情報交換 【22】	他のGHさんの経験談を聞くことができて良かった。
	他の施設の方の話を聞いて良かった。
	いろんな場所の方との意見が聞いて良かった。
	グループで話をさせていただいて、「こんな方法もあるのか」と利用者さんへの対応法を学ぶことができた。
	グループ内での話をする時間があり、他のホームでの話が聞いて良かった。
	他施設の職員の方とお話できたこと
	他の施設の方のお話が聞いたこと。
	自分以外のホームや医療の知らない部分が聞けなかった。
	他GHと交流がとれた。先生たちとお話できてよかった。
	他グループの方々との交流
	他ホームの入居者様、関わりを学ぶことができた。
	グループ交流で、他の事業所の話をきけたこと
	他GHのスタッフの話が聞いてよかった
	他の事業所の方との交流
	他のGHのお話、現状を聞くことができ、入居者対応として参考になった
またグループワークをすることで、他の事業所さんの情報が得られたことが良かったです。	

	他施設の方とお知り合いになりました。
	他の施設の方を交えてお話ができた。
	仕事場だけでなくこんな場がもてて良かったです。
	他のグループホームの話が聞けて良かった。
	他施設の方の看取りの話が聞けて良かった。
	グループホームの中の看取り、個別ケアの中で最終ステージをどう集団の生活の中で支えていか同じような悩みを皆さんお持ちだということがわかりました。
認知症についての学び【8】	北田先生のお話がとてもためになりました。
	認知症の経過と医療者側へ連絡をとるタイミング
	認知の基本的な知識。
	認知症のステージが3つにわかれていることがわかった。一日に飲んでいただく水分の量などもわかった。他のホームはこうゆう対応をしているなど対応法などがわかりよかったです。
	改めて認知症の方のケアの気づきの場になりました。
	認知症のステージ。
	北田先生のお話がとっても面白かったです。
	認知症の段階を追った説明、とても興味深かったです
新たな気づき・再認識【4】	勉強にとってもなりました。ご家族様の協力がとても大切なことを改めて感じた。
	レジメを通して講義を聞くことで理解が深まった。
	今後のGHでの看取りを行うことについての考え方について知ることができた。
	利用者様の状態の変化に対しての気づきの重要性、また、日頃の観察の重要性を改めて感じました。
体調の変化に関する報告・相談についての学び【3】	体調の変化に際しての報告・相談の仕方についてどういう風に相談・報告したら良いかをわかりやすく教えていただいたことでした。
	急変時の対応
	利用者様の状態の変化に対しての気づきの重要性、また、日頃の観察の重要性を改めて感じました。
医師から話を聞いたこと・医師との交流【3】	Drとゆっくりお話をする機会があり大変ためになりました。
	先生のお話を聞けて良かった。介護職が関わる医療行為についてももう少し詳しくお聞きしたかった
	あおぞらさんの先生から講義を受けれたので大変よかったです。もう少し時間がほしい。

【講習会のテーマについて】

1. 興味・関心のある講習会のテーマはどれですか。

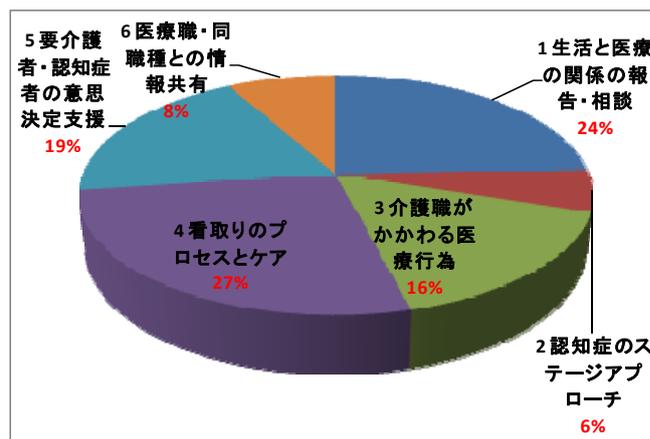
	医療職・同職種との情報共有	要介護者・認知症者の意思決定支援	看取りのプロセスとケア	介護職がかかわる医療行為	認知症のステージアプローチ	生活と医療の関係の報告・相談
4 非常に興味がある	24	17	26	20	19	20
3 興味がある	9	17	9	11	12	14
2 やや興味がある	0	1	0	3	2	0
1 関心がない	0	0	0	0	0	0
平均値	3.73	3.46	3.74	3.50	3.52	3.59
無回答者数	6	4	4	5	6	5



2. 介護を行う上で、最も重要だと思うテーマはどれですか。

	度数	%	累積%
1 生活と医療の関係の報告・相談	9	24.3	24.3
2 認知症のステージアプローチ	2	5.4	29.7
3 介護職がかかわる医療行為	6	16.2	45.9
4 看取りのプロセスとケア	10	27.0	73.0
5 要介護者・認知症者の意思決定支援	7	18.9	91.9
6 医療職・同職種との情報共有	3	8.1	100.0
合計	37	100.0	

無回答者2名を除く



3. 2.で選んだテーマを最も重要だと思う理由

①生活と医療の関係と体調の変化に際しての報告・相談【6】

- ・報告のポイントを自分でも知りたいと思った。
- ・体調の変化を感じその時に合った介護ができればと思います。
- ・日常生活を共に過ごしているから、体調変化にすぐ気付けるようにしたい。
- ・ご入居様様の人生、命をあずかっているの、ほんの少しの変化も気づいていかなければならない。

- ・介護と医療は切り離せないものなので。
- ・どんなに認知症状が重度になっても最後までその方らしく生きて生き抜いてほしいと願います。

②認知症のステージアプローチ【1】

- ・これから仕事し認知症のかたのケアを行っていくうえで一番基本的な知識だと思うので。

③介護職が関わる医療行為【5】

- ・GHに医療行為ができることで介護職もレベルアップできると考える。
- ・やっぱり介護士として医療行為がどこまでできるのか？ホームによって境界線が違うので悩みます。
- ・現場では歯がゆい思いをすることが多々あります。自分たちでできたらと何度も思います。正しい知識を身につけて介護職でもできる医療行為、学んでいきたいです。
- ・これが必ず必要とされるものなので
- ・ラップ療法を詳しく知りたい。

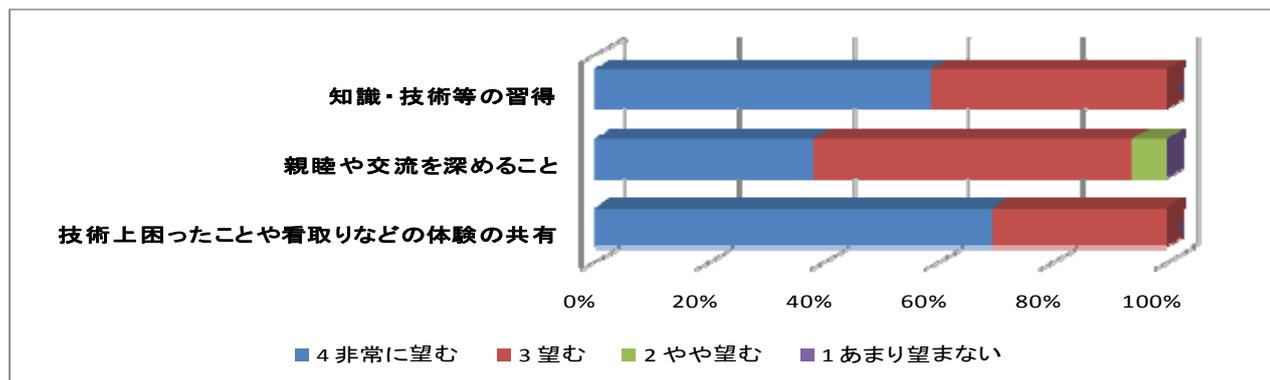
④看取りのプロセスとケア【6】

- ・必ず直面することで、人によって違ってくることなので。
- ・何もわからなくなっても安心して気持ち良く生活して行ってほしい。
- ・先月ターミナルを経験して何もできなかったのがくやしかった。
- ・人生の貴重な終止符だから
- ・グループホームだからこそできることだから。
- ・どれも大切だと思いますが、医療が関わってくるステージは看取りの段階だと思うし、それに伴い介護、医療、家族との関わり、「死」をどう向き合っていくか。チームとして関わっていきたい。

【講習会の内容と規模について】

1. 今後、この講習会にどのようなことを望みますか。

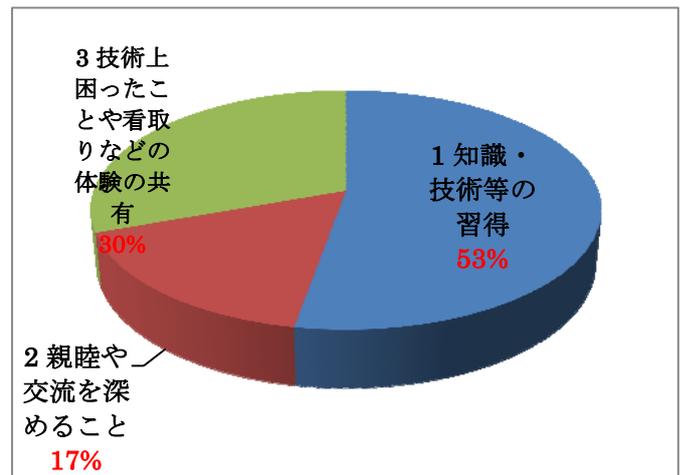
	知識・技術等の習得	親睦や交流を深めること	技術上困ったことや看取りなどの体験の共有
4 非常に望む	20	13	23
3 望む	14	19	10
2 やや望む	0	2	0
1 あまり望まない	0	0	0
平均値	3.70	3.32	3.59
無回答者数	5	5	6



2. 最も望む内容

	度数	%	累積%
1 知識・技術等の習得	19	48.7	52.8
2 親睦や交流を深めること	6	15.4	69.4
3 技術上困ったことや看取りなどの体験の共有	11	28.2	100.0
合計	36	100.0	

無回答者2名を除く



3. 2.で選んだテーマを最も重要だと思う理由

①知識・技術等の習得【15】

- ・知識がないから学びたい。看取りの経験がないから。
- ・知識がないと看取りなどがどうしたらいいかわからないから。
- ・正しい知識での対応でないと利用者様の負担になってしまうので。
- ・知識を得れば、入居者様がより過ごしやすいと思うから。
- ・日々勉強不足と感じていることがあるので少しでもこうゆう場があれば
- ・知識がなければ自分の力にならない。
- ・何かの時に少しでも役にたてたらと思う。
- ・あまり習得する場所がないため
- ・もっといろいろなことを教えて欲しいと思った。
- ・いろいろな技術があるので色々知りたい。
- ・現場で役に立つから。
- ・今後ますますGHでも医療処置を求められると思うため。
- ・新しい情報も更新されているので。
- ・新人スタッフが分かりやすい様な事をできれば。
- ・仕事をするうえで必ず必要なことだと思うので。

②親睦や交流を深めること【4】

- ・同業者の友人があまりいないので。
- ・他グループの情報の吸収が必要だと思うから
- ・親睦や交流を持つことが、できづらいので研修の場を借りて情報交換ができればよいと思います。
- ・交流が深まることで交換される情報が増えるため。

③業務上困ったことや看取りなどの体験の共有【6】

- ・経験がないため、みなさんのお話を伺って参考にしたい看取りの体験も聞いてみたい。
- ・他ホームでどう対応しているのかを知りたいと思ったため
- ・自分が現在関わっていること等の参考になればどうしてあげるのが良いのかわからなくなってしまうことも多

いので。

- ・ 看取りの体験はとても貴重なこと体験したこと取り組み方などいろいろなパターン考え方を知り、知識を深めていきたい。
- ・ 看取りの実践報告なども。はげみになるかと思いました。
- ・ 終末の方への介護の経験がないから。

3. 開催規模

	度数	%	累積%
1 もっと規模を縮小した方がよいと思う	0	.0	.0
2 今回と同規模でよいと思う	26	70.3	70.3
3 市内のすべてのグループホームに向けて、開催した方がよいと思う	3	8.1	78.4
4 市内のすべての居住系施設に向けて、開催した方がよいと思う	2	5.4	83.8
5 市内のすべての介護職に向けて、開催した方がよいと思う	6	16.2	100.0
合計	37	100.0	

無回答者2名を除く

